



## 水素医学生物学会大会 向けに」テーマに、100人強が参加



103人が参加した

を臨床実装する上で、対象病態、投与方法の実際、薬理学的評価など、良質な臨床試験を行って実証する必要があると指摘。そのために必要な事項、実際に実施前・中・後の臨床試験で経験した課題や対応策の共有を目的に行われた。

ここでは、水素を基礎研究から臨床研究に移行する際には、法規制や臨床試験設計、倫理審査など様々な障壁が存在する点が語られた。分子状水素の臨床試験の場合、サプリメントや食品であっても、臨床研究法に基づく「特定臨床研究」に該当するケースが考えられる事例、混合診療との棲み分けなどの課題、水素ガス吸入装置を医療機器として開発する際のプロセスなどについて、各演者による対応策などが発表された。

この他、一般演題では、水素ゼリー投与による老化促進モデルマウスの抑うつ様行動や認知機能低下の改善作用、水素ガス吸入による大動脈解離や大動脈破裂および肺障害の緩和作用、水素水の飲水による糖尿病モデルマウスの急性肝障害の病態改善作用——などに関する発表が行われた。当日は質疑応答も盛んに行われるなど活発な議論が展開され、盛況裡に終わった。なお、今回は国際大会が予定されている。

## 2024年上期の家庭用医療機器は2ケタ減 医薬部外品は堅調なスタート

厚生労働省が9月13日に発表した薬事工業生産動態統計6月分をもとに、今年上期(1~6月)の家庭用医療機器の国内出荷金額を算出した結果、前年同期比17.6%減の314億4,042万円となった。類別では、家庭用マッサージ器等を含む「バイブレーター」が同9%減の148億1,550万円、家庭用低周波治療器等を含む「家庭用電気治療器」が同11.4%増の77億8,411万円、「指圧代用器」が同9.3%増の8億5,363万円、「はり又はきゅう用器具」が同51.3%減の20億6,648万円、「磁気治療器」が同43.8%減の

33億1,119万円、「医療用物質生成器」が同44.3%減の26億950万円となった。

一方、今年上期(1~6月)の医薬部外品の国内出荷金額は、前年同期比0.9%増の7,176億1,968万円。ヘルスケア分野に関連するアイテムだけを抽出したところ、「口中清涼剤」は同5.6%増の99億8,705万円、「薬用歯みがき剤」は同6.8%増の821億2,908万円、「薬用化粧品」は同2.2%減の2,800億2,443万円、「毛髪用剤」は同0.7%増の1,143億2,286万円、「浴用剤」は同1.4%増の261億9,637万円となった。

## 携行型モデル『DENBA Mobile』新発売 DENBA JAPAN

DENBA JAPAN(株)(東京都中央区、☎03-5801-5969)は9月24日、水分子微細振動技術を応用したヘルスケア製品「DENBA Health」シリーズから、携行型モデル『DENBA Mobile』を発売した。

「DENBA Health」シリーズは、元来は食材の変色や傷みの原因となる酸化を防ぎ、肉や野菜の鮮度を長く保つ食品の鮮度保持を目的に開発された特許技術を、ヘルスケア分野に応用し、開発したアイテム。1極のみから周囲の空間に放出された電気が、マットを中心に大きなドーム状の電位空間を創出。水分子の波長に合わせた周波数の波長を与えることで、その空間に身を置くだけで、身体中の水分子を活性化させ、整えることで酸化を抑制するというもの。マットから離れていてもその空間にいるだけで、疲労回復や体質改善など体内からのサポートが実現できるという。

実際、東京大学、慶應義塾大学、筑波

大学、麻布大学などとも共同研究を実施。「DENBA Health」シリーズが自律神経を中庸に整え、身体を還元することで、快眠や疲労回復などに有用とのデータも取得しているという。

「DENBA Health」シリーズは、アスリートや経営者、高齢者など健康意識の高い層を中心に利用者が拡大している。百貨店や医療機関、有名ホテルなどにも採用され、国内外で10万台の累計販売実績を持つ。今回、『DENBA Mobile』開発の経緯については、徳洲会体操クラブ所属でパリ五輪金メダリストの岡慎之助選手や杉野正亮選手をはじめ、多くの愛用者から、「1分でも長く活用したい」との声が多かったからとのこと。販売は、サブスクによる直販で展開していく。



展2024] 出展 ブースNo.1-001

コストダウン  
から小ロットまで

顆粒 糖衣 各種コーティング  
・各種分包  
・ハードカプセル

新研究棟

イノベーション・ラボ

が始動します!

「イノベーション・ラボ」とは

